



ホームラン ニュース

<http://www.funabashi-gakudou-baseball.jp/>

発行：船橋市野球協会少年学童部

責任者：理事長 河崎 六郎

編集：広報部

第23回船橋市少年学童野球低学年大会 藤上ディアーズ 初優勝

8月29日、29チームが参加して行われた、「第23回船橋市少年学童野球低学年大会」も決勝戦の日を迎えました。試合は逆転サヨナラとゆう劇的な結末で、藤上ディアーズが初優勝の栄冠を手に入れました。

決勝戦は、船橋三山スワローズと藤上ディアーズの対戦となりました。序盤は両チームとも得点圏にランナーを進めるものの決定打が出ず、無得点のまま3回を終了します。4回表、船橋三山スワローズは、3番平澤くん、4番財部くんの連続2塁打で1点を先制、5回にも1点を追加し、2対0と試合を優位に進めます。あとのない藤上ディアーズは、5回裏、7番熊谷くんのヒットを皮切りに、3本のヒットをあつめて3点を返し、3対2の逆転サヨナラ勝利で、低学年大会初優勝を飾りました。



藤上ディアーズ 主将 渡辺 知輝

決勝戦の日、運動公園に集合した僕は緊張していました。運動公園の球場に入った時はすごく綺麗だと思いました。球場に入ると緊張を忘れていましたが試合が始まるとまた緊張して足が震えました。

一球投げて入ったけど二球目はデットボールになってしまいました。でもそれで少し緊張がほぐれました。その後、ヒットせいのライナーを打たれたけどファーストのたいようがとってくれて助かりました。

違う回2アウトまで追いこんだ後、僕は緩急をつけて投げようとしたらベンチから思いっきり投げろというサインが出たので、思いっきり投げファーストフライに打ち取りました。

バッターの時はいつものように打てなくて悔しかったです。

そして最終回。僕達みんなが最後まで勝つことを諦めないでプレイをして勝ったので嬉しかったです。勝った瞬間みんなで勝った〜と叫びました。



チーム	1	2	3	4	5	計
スワローズ	0	0	0	1	1	1
ディアーズ	0	0	0	0	3x	3

船橋市野球協会少年学童部 創立40周年記念式典・祝賀会

平成27年9月6日、船橋グランドホテルにおいて、「船橋市野球協会少年学童部創立40周年記念式典・祝賀会」が開催されました。式典・祝賀会は、船橋市長 松戸徹 様、船橋市教育委員会教育長 松本文化 様をはじめとする、船橋市行政と関係機関の皆様、日頃からご協力を頂いている後援団体、千葉県野球連盟、近隣の野球連盟、少団連の皆様、船橋市野球協会、船橋市野球協会少年学童部の40年を支えて頂いたOBの他、所属チームの関係者など、合わせて180名を超える出席者を迎え開催されました。



河崎六郎 船橋少年学童部理事長



松戸徹 船橋市長

少年学童部理事長 河崎六郎のご挨拶に続き、来賓を代表してご祝辞を頂いた、松戸徹 船橋市長からは、少年野球を通じ未来を担う人材育成に尽力する関係者へ感謝の言葉を、松本文化 船橋市教育委員会教育長からは、子供達の健全育成や地域の絆づくりへの貢献に対し感謝の言葉を頂きました。また、飯塚教夫 千葉県少年野球連盟理事長からは、船橋市野球協会少年学童部と連携して子供達が野球を楽しめる環境を作っていくとの力強いご祝辞を頂きました。

ご出席頂いた来賓のご紹介につき、日頃の学童部へのご支援に感謝し、株式会社東武百貨店 船橋店様、関東地方郵便局長協会 船橋市内局長様へ感謝状と記念の楯が贈呈され、長く子供達を指導されてきた功労者の方々には表彰状が授与されました。

式典のあと、船橋市野球協会少年学童部 斉藤武 顧問による乾杯のご発声により祝宴が開始され、少年学童部40年の歴史と、これからの少年学童野球を思いながら、祝賀会が盛大に執り行われました。



松本文化 船橋市教育委員会教育長



飯塚 教夫 千葉県少年野球連盟理事長

河崎理事長のご挨拶<要旨>

監督・コーチのみなさんには、日頃、野球の指導を通じ、子供達の育成にご尽力頂き感謝申し上げる。みなさんで協力し、今後も野球を楽しむ子供達を増やし、学童部を50年、60年と続けていくため頑張っていこう。



斉藤武 少年学童部顧問による乾杯のご発声

第40回船橋市少年学童野球選手権大会

習志野台ワンパクズ 大会5連覇

船橋市野球協会少年学童部にとって節目の大会となる「第40回船橋市少年学童野球選手権大会」の決勝戦は、8月29日、春季大会ベスト4の前原エイトマンと習志野台ワンパクズの間で争われ、習志野台ワンパクズが大会5連覇を達成しました。

1回の表、習志野台ワンパクズは、3番小川くん、5番古屋くんのタイムリーヒットで2点を先制、2回にも1点を追加して3対0とリードをひろげます。その裏、前原エイトマンは、1アウトから7番佐野くんのセンター前タイムリーヒットで、1点を返します。

緊迫した展開のなか、4回裏に試合が動きます。習志野台ワンパクズは、先頭バッターを三振に打ち取りますが、その後、ピッチャー陣が制球を乱し、押し出しなどで前原エイトマンに2点を奪われて3対3の同点となり、試合はふりだしに戻ります。

同点とされた直後の5回表、1アウト3塁のチャンスにも、前原エイトマンの堅い守りに阻まれて得点の出来なかった習志野台ワンパクズは、2アウト2塁で好調の5番古屋くんに、タイムリーヒットが飛び出し、1点を勝ち越して4対3、前原エイトマンを突き放します。しかし、粘る前原エイトマンも6回裏、2番西村くんのライト前ヒットで再び4対4の同点に追いつき、勝負は最終回にもつれ込みます。

運命の最終回、2アウト1塁で習志野台ワンパクズの5番古屋くんの放った打球は、この日3本目のタイムリーヒットとなるセンターオーバーの特大3塁打、これが決勝点となり、習志野台ワンパクズが5年連続7回目の優勝を飾りました。



チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
ワンパクズ	2	1	0	0	1	0	1	5
エイトマン	0	1	0	2	0	1	0	4



習志野台ワンパクズ 主将 成田 大輔

僕たちは、春の大会と日報杯で負けてしまいましたが、悔しい思いをいかしてたくさん練習しました。その結果夏の大会で優勝できました。夏の大会で優勝できたのは、その練習をいっしょうけんめいやったのと、チームが一つになって全力をだした事、監督コーチにおしえてもらい、みんなの応援があったから優勝できました。僕達だけでは、優勝できなかったです。ほんとうに優勝できてうれしかったです。試合のあと初めて、新聞記者の人にインタビューされました。6年生全員で行きました。いろいろ質問をされましたそれも一つの思い出になりました。金のメダルには、練習の成果がはいっていると思いました。

夏休みの大きな良い思い出が出来ました。

ろうきん旗でもいっしょうけんめい頑張りたいと思います。

功労者表彰 創立40周年記念式典・祝賀会

9月6日に開催された「船橋市野球協会少年学童部創立40周年記念式典・祝賀会」において、長く子供たちの指導に携わってこられた指導者6名が、船橋市野球協会少年学童部功労者として表彰され、船橋

市野球協会少年学童部 河崎六郎 理事長より、表彰状が授与されました。

船橋市野球協会少年学童部 功労者

井上 利也	君島 正春
大久保 猛之	塚本 樺雄
志賀 諭	出口 勇雄

順不同 敬称略



訃報

船橋市野球協会少年学童部 第一支部
二和タイガース 代表 根本 繁男 氏
平成27年8月3日永眠致しました。

ここに生前のご厚誼に深謝申し上げます。ご通知申し上げます。

～ 編集後記 ～

少年学童部創立40周年。娯楽の少ない外房の漁師町で、学校帰りに友達と三角ベースで遊んでいたのが40年前…、歴史を感じます。

ご苦労さまでした。そして、これからも宜しくお願いします。 (広報部)

大会成績

少年学童野球選手権大会

優勝 習志野台ワンパクズ
準優勝 前原エイトマン
第三位 習志野サンデーズ
海神スパローズ

低学年大会

優勝 藤上ディアーズ
準優勝 三山スワローズ
第三位 西船ウイングス
FTJ

全日本学童軟式野球大会

出場 習志野サンデーズ

関東学童軟式野球千葉県大会

出場 西習志野グリーンファイター

千葉県少年野球大会(千葉日報杯)

出場 習志野台ワンパクズ
出場 前原エイトマン
出場 海神スパローズ

お詫びと訂正

2015年6月20日に発行いたしました「ホームランニュース第23号」におきまして、昨年(2014年)の低学年大会の優勝チームをFTJと紹介しましたが、正しくは、西船ウイングスの誤りでした。

読者の皆さまならびに関係各位にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。